

- 問1 大分県別府市の境川河口付近において、昭和五十年代と平成二十五年の二枚の二万五千分の一地形図を比較した際に読み取ることができる、都市開発に伴う人工的な景観の変化として正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 自然環境を復元するために、既存の橋を撤去して河口を昭和以前の形状に戻した
2. 食料不足を解消するために、沿岸部の埋め立て地に広大な田畑が作られた
3. 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された
4. 防災機能を強化するため、河口付近の住宅地を撤去して警察署や消防署が設置された
- 問2 新潟県から静岡県付近を縦に貫き、日本列島を地質的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形において、その西側の境界線となっている断層帯の名称を答えなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 糸魚川静岡構造線
2. 中央構造線
3. 柏崎千葉構造線
4. 棚倉構造線
- 問3 静岡県などに見られる太平洋側の気候において、雨温図上で夏の降水量が多くなる主な要因は何ですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 夏に南東から吹く湿った季節風の影響
2. シベリア高気圧から吹き出す冷たい風の影響
3. 冬に北西から吹く湿った季節風の影響
4. 年間を通じて吹く強い偏西風の影響
- 問4 日本列島の地形の特徴を説明した文章において、日本アルプスの東側に位置し、日本列島を地質学的に東日本と西日本に分ける南北方向の巨大な断層帯を何と呼びますか。なお、この断層帯は「大地溝帯」とも訳されます。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 日本海溝
2. フォッサマグナ
3. 火山フロント
4. 中央構造線
- 問5 北海道の東方から東北地方の太平洋側に沿って南下する、栄養分を豊富に含んだ寒流の名称として最も適切なものを選択してください。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 親潮（千島海流）
2. 対馬海流
3. 黒潮（日本海流）
4. リマン海流
- 問6 屋久島や小笠原諸島の近海を通り、日本の南岸から太平洋側に沿って北上する海流があります。この海流は、塩分濃度が高く透明度が高いという特徴を持っており、別名を「日本海流」とも呼びます。この暖流の名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 対馬海流
2. リマン海流
3. 親潮
4. 黒潮
- 問7 日本海側の気候がみられる地域において、年間の降水量や日照時間の推移を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 梅雨や台風の影響を強く受ける夏から秋にかけて降水量が集中し、冬は乾燥して晴天の日が続く。
2. 冬に北東から吹く「やませ」の影響で冷害が起こりやすく、夏になっても日照時間が全く増えない。
3. 一年を通じて降水量が少なく、特に夏は瀬戸内海沿岸のように極端に日照時間が長くなる。
4. 冬は北西の季節風の影響で降雪量が多くなり降水量が増えるが、夏は晴天の日が多く日照時間が長くなる。
- 問8 関東地方の河川に関する統計において、流域面積が約16,840平方キロメートルと日本で最大であり、群馬県を源流として千葉県北部などの下流域を経て太平洋に注ぐ河川の名称として最も適切なものを、次の中から選びなさい。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 利根川
2. 荒川
3. 信濃川
4. 石狩川
- 問9 日本の気候に適応した人々の生活の工夫について、山形県に見られる「階段が設置され床面が高くなっている電話ボックス」の説明として、地域の自然環境と関連付けて述べたものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である
2. 台風の通り道となる地域において、高潮による冠水から施設を守るための工夫である
3. 季節風が強い地域において、風による建物の転倒を防止するための工夫である
4. 火山灰が降り積もる地域において、灰が室内に侵入するのを防ぐための工夫である
- 問10 栃木県内を南北に流れる渡良瀬川や鬼怒川は、関東平野を流れるある大規模な河川に合流する支流です。これらの支流を含み、広大な流域を形成して地域の農業に大きく貢献している河川水系の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 利根川水系
2. 最上川水系
3. 筑後川水系
4. 信濃川水系
- 問11 東京23区における7月下旬から9月末までの「熱帯夜の日数」を調査した統計において、都心部に近づくほど日数が多くなり、周辺の郊外に比べて気温の高い地域が島状に分布していることが示されました。このように、都市化の影響によって都市部の気温が郊外よりも高くなる現象を何といいますか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. エルニーニョ現象
2. ヒートアイランド現象
3. 地球温暖化
4. 砂漠化
- 問12 小笠原諸島の自然環境と、そこでの人々の生活や地理的条件について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. 落葉広葉樹であるブナの林が島全体を覆っており、秋には紅葉を楽しむ観光客が多く訪れる。
2. 大陸と地続きであった時代に渡ってきた大型の哺乳類が、現在も野生状態で数多く生息している。
3. 気候は一年を通じて温暖な亜熱帯に属しており、独自の進化を遂げた動植物を保護するための取り組みが行われている。
4. 東京都に属しているが、緯度が非常に高いため、冬には流水が接岸するなどの寒冷な気候が特徴である。
- 問13 近年、都市部では集中豪雨の際に下水管内の空気が圧縮され、マンホールから水が噴き出す「都市型洪水」が課題となっています。この対策として、京都市などで導入されている「雨庭（あめにわ）」の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。
2. 下水管の中にフィルターを設置し、雨水に含まれるゴミを取り除いてから川へ流す速度を速める。
3. 住宅地の景観を整えるための装飾として、雨水を好む植物を植えることで都市の気温上昇を抑える。
4. 雨水をすべて地下の巨大なタンクに密閉し、災害時の生活用水として利用するために貯蔵する。
- 問14 ある地域の地形図を確認したところ、大きな建物のすぐ背後に山があり、その斜面にあたる部分の等高線の間隔が非常に狭くなっていました。この地形図から推測される実際の風景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 建物が山の頂上付近にある、平坦な場所に建てられている風景
2. 建物の後ろに、なだらかで緩やかな斜面が遠くまで続いている風景
3. 建物の周囲が等しい高さの土地に囲まれた、広い盆地のような風景
4. 建物のすぐ後ろに、険しく急な斜面がそびえ立っている風景

答え合わせ・解説

問1	答え 3 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された	都市の発展に伴い、限られた平地を拡張するために沿岸部の埋め立てが行われることがあります。大分県別府市の事例では、昭和五十年代には自然な形状で海に開かれていた河口が、平成二十五年までには直線的に埋め立てられ、さらにその海上に新しい橋が建設されるなど、交通網の整備と土地利用の高度化が同時に進んだことを地形図から読み取ることができます。
問2	答え 1 糸魚川静岡構造線	フォッサマグナの西端を画する大断層線です。この線を境に東側と西側では地層の年代や性質が大きく異なっており、日本列島の形成過程を示す重要な地形的特徴として知られています。
問3	答え 1 夏に南東から吹く湿った季節風の影響	太平洋側では、夏に小笠原気圧（太平洋高気圧）から南東の湿った季節風が吹き込むため、梅雨や台風の影響と重なって夏から秋にかけての降水量が多くなります。一方、冬は山を越えた乾燥した風が吹くため、晴天の日が多く降水量は少なくなります。
問4	答え 2 フォッサマグナ	日本列島の形成過程において生じた巨大な溝のような地帯であり、ラテン語で「大きな溝」を意味します。西端は糸魚川・静岡構造線という断層で区切られており、地質学的な東日本と西日本の境界線としての役割を果たしています。よく混同される中央構造線は、西日本を北側の領家帯と南側の三波川帯に分ける、東西方向に走る断層であるため区別が必要です。
問5	答え 1 親潮（千島海流）	北の千島列島方面から流れてくるこの海流は、魚の餌となるプランクトンなどの栄養分を豊富に含んでいることから「魚を育てる親となる潮」という意味で親潮と呼ばれます。また、その起点から千島海流という別名も持ちます。これに対し、南から来る暖流である黒潮は、栄養分が少なく透明度が高いため、色が黒く見えることからその名がついています。
問6	答え 4 黒潮	日本の太平洋側を流れるこの暖流は、赤道付近からの暖かい海水を運んでくるため、周辺の気温を高く保つ役割を果たしています。プランクトンが少なく透明度が高いために、海の色が深く青黒く見えることからその名がつけられました。千島海流（親潮）とぶつかる東北地方の沖合では、潮目（潮境）を形成し、良質な漁場となります。
問7	答え 4 冬は北西の季節風の影響で降雪量が多くなり降水量が増えるが、夏は晴天の日が多く日照時間が長くなる。	日本海側の気候の最大の特徴は、冬の降水量（雪）の多さです。大陸からの冷たく湿った北西の季節風が奥羽山脈や越後山脈などにぶつかり、大量の雪を降らせます。しかし、夏になると太平洋側の気候と同様に晴天に恵まれる日が多く、農業（特に稲作）に適した長い日照時間が得られます。これに対し、太平洋側は夏に雨が多く冬に乾燥して晴天が続くという逆のパターンを示します。
問8	答え 1 利根川	群馬県の大水上山を源流とし、関東平野を横断して千葉県と茨城県の境から太平洋に注ぐ利根川は、日本最大の流域面積を誇る河川です。選択肢にある信濃川は日本で最も長い河川（長さ1位）ですが、流域面積では利根川が1位となります。また、荒川は利根川の西側を流れる河川であり、石狩川は北海道を流れる日本第2位の流域面積を持つ河川です。
問9	答え 1 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である	山形県などの積雪地域では、一晩で数十センチメートル以上の雪が積もることがあります。このような環境下で公共施設を維持するためには、雪が積もることを前提とした設計が必要です。床面を高くする工夫は、除雪が追いつかない状況でも施設としての機能を維持するための、積雪地域特有の知恵と言えます。
問10	答え 1 利根川水系	栃木県を流れる渡良瀬川や鬼怒川は、利根川の本流に合流する重要な支流です。このように本流と支流を合わせた河川の集まりを「水系」と呼びます。利根川水系は日本最大の流域面積を誇り、関東地方の広範囲にわたって農業用水などを供給する役割を担っています。
問11	答え 2 ヒートアイランド現象	都市部では道路のアスファルトや建物のコンクリートが太陽熱を蓄えやすく、さらに自動車やエアコンなどから放出される人工排熱が多いため、周辺の郊外に比べて気温が下がりにくなります。気温の高い地域が地図上で島のように見えることからこの名がつきました。地球全体の気温が上がる地球温暖化とは、発生のメカニズムや規模が異なるため区別が必要です。
問12	答え 3 気候は一年を通じて温暖な亜熱帯に属しており、独自の進化を遂げた動植物を保護するための取り組みが行われている。	小笠原諸島は北緯27度付近に位置し、気候区分では亜熱帯に属します。海洋島という特性から大型の哺乳類は本来存在せず、カタツムリの仲間や植物などに多くの固有種が見られます。落葉広葉樹（ブナ）は東北地方などの冷温帯に見られるものであり、流水は北海道のオホーツク海沿岸で見られる現象です。
問13	答え 1 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。	都市部では地面の多くがアスファルトで覆われているため、雨水が地中に浸透せず一気に下水道へ流れ込みます。雨庭は、植物や土壌を利用して雨水を一時的に貯め（貯留）、ゆっくりと地面に染み込ませる（浸透）機能を持っています。これにより、下水管に急激な負担がかかるのを防ぎ、マンホールの噴出や浸水被害を抑制する役割を果たしています。
問14	答え 4 建物のすぐ後ろに、険しく急な斜面がそびえ立っている風景	地形図上の等高線の間隔は、その土地の傾斜の度合いを反映しています。建物の背後の山において「等高線の間隔が非常に狭い」という情報は、その場所の傾斜が急であることを示しています。したがって、実際の風景としては、建物のすぐ裏手に急峻な崖や険しい斜面が存在している状況が読み取れます。